

カンピロバクター・ジェジュニの β -1,3-ガラクトシルトランスフェラーゼ、組換え型

Cat. No. NATE-1488

Lot. No. (See product label)

はじめに

説明 UDP-ガラクトースから基質の末端にあるベータ-N-アセチルグルコサミン (ベータ-GlcNAc) 残基にガラクトースを転送するベータ-1,3-ガラクトシルトランスフェラーゼ。末端にガラクトース残基を持つ基質も利用可能だが、効率は低い。グリコリピッドおよびグリコプロテインの炭水化物部分の生合成に関与している。末端にアルファ-N-アセチルグルコサミン (アルファ-GlcNAc) またはアルファ-N-アセチルガラクトサミン (アルファ-GalNAc) 残基を持つ基質には不活性。

別名 UDP-ガラクトース-セラミド ガラクトシルトランスフェラーゼ; ウリジン二リン酸ガラクトース-セラミド ガラクトシルトランスフェラーゼ; UDP ガラクトース-LAC Tet-セラミド α -ガラクトシルトランスフェラーゼ; UDP-ガラクトース-GM2 ガラクトシルトランスフェラーゼ; ウリジン二リン酸ガラクトース-GM2 ガラクトシルトランスフェラーゼ; GM1-シターゼ; ガングリオシド ガラクトシルトランスフェラーゼ; EC 2.4.1.62; CgtB

製品情報

種	カンピロバクター・ジェジュニ
由来	E. coli
EC番号	EC 2.4.1.62
CAS登録番号	37217-28-0
純度	SDS-PAGEによる最小95%
単位定義	1ユニットは、37°Cで1分間にGalとUDP-Galから1 μ molのGal β 1,3Galを生成する触媒としての酵素の量として定義されます。